

川崎市立看護短期大学紀要投稿要領

1. 投稿原稿

- 1) 原稿は、和文又は欧文とする。ただし、既刊のもの又は他の刊行物に掲載予定のものは除く。
- 2) 原稿は、刊行冊子と同一のA4判を使用し、3.5インチのフロッピーディスクに、MS-DOSのテキスト・ファイル形式又はMacintoshのファイルで保存したものを添える。
- 3) 和文による原稿は、現代仮名遣いに従ってひらがな混じり、横書きで、正確に句読点をつける。
- 4) 和文による原稿は、400字詰原稿用紙40枚以内とし、図表も原稿用紙1枚として数えるものとする。
- 5) 欧文による原稿は、12ピッチ、ダブルスペースとし、出来上がり体裁A4判で二段組、10頁以内とする。
- 6) 図表は、一点毎1枚に作成し、挿入箇所を文中に指定する。
- 7) 各専門分野で認められている省略記号以外は、術語の省略はしない。略語は、用いて差し支えないが、初出の場合は、省略しない。
- 8) 度量衡は、原則としてSI単位系を使用する。
- 9) 統計処理を行ったときは、統計検定法を明記する。
- 10) 本文の総頁数は、400字詰原稿用紙40枚相当とする。ただし、図表については、400字相当として換算する。出来上がり頁数は、10頁を上限とする。

2. 原稿の様式

原稿の様式は、次のとおりとし、順に綴じる。

1) 表紙

表題、所属、投稿者名、所要別刷数及び連絡先を記載する。

2) 抄録・要旨

和文、欧文又は両方の抄録・要旨をつけること。抄録・要旨には研究の目的、方法、結果及び結論のすべてが含まれなければならない。

(1) 和文抄録・要旨

400字以内

(2) 欧文抄録・要旨

200語以内とし、A4判タイプ用紙1枚に12ピッチ、ダブルスペースを基準として作成すること。

(3) 日本語及びこれに対応する欧文のキーワードをそれぞれ5語以内つけること。

3) 本文

緒言、研究対象、方法、結果及び考察の順に記述すること。

(1) 本文の項番については、以下に従うこととする。

I、1、1)、(1)、以下は任意とする。

4) 投稿者、共著者について

投稿者、共著者の所属は、出来上がりの第一ページ脚注に掲載する。

5) 引用文献

引用した文献は、本文中において順次番号を該当する箇所の右肩につけ、本文の終わりに番号

順に従って列挙する。

著者が3名以上の場合は、3名までを列記し、それ以上は「ほか」又は「et al.」とする。

記載要領は、次のとおりとする。

(1) 雑誌の場合

著者名：題名、雑誌名、巻：頁一頁、発行年次

(2) 単行本の場合

著者名：書名、(巻)、(版)、頁一頁、発行所、発行年次

(3) 分担執筆単行本の場合

著者名：分担項目名、監修者、編集者、書名、(巻)、(版)、頁一頁、発行所、発行年次

6) 図(写真を含む)・表とその説明

(1) 図表の掲載は、通常左右7.0cmとする。希望により拡大できる。

(2) 図表は、そのまま写真製版可能なものとする。

(3) 使用する言語は、日本語か欧文に統一する。数字は図1 (Figure 1)、表1 (Table 1) のようにアラビア数字を使用する。

(4) 投稿原稿に掲載する写真はモノクロ写真とし、カラー写真は認めない。

3. 原稿の受付

1) 投稿者は、原稿2部及びフロッピー・ディスク1枚を「川崎市立看護短期大学紀要編集委員会」へ直接又は書留郵便で提出する。

2) 紀要編集委員会は、投稿者に受領書を発行する。

3) 原稿の締切りは、毎年10月末日とする。

4. 原稿の取扱い

1) 原稿の掲載は、原則として到着順とする。

2) 掲載の採否は、紀要編集委員会で決定し本人に通知する。

5. 校正

投稿者による校正は、原則として初校のみとし、指定期間内に返却すること。校正に際しては、加筆は原則として認めない。

6. 別刷りなど

別刷りは、30部まで無料として作成する。

7. その他

編集、その他の細部は紀要編集委員会が協議して決める。

附 則

この要領は、平成8年1月8日から施行する。

平成8年9月2日一部改正

平成9年1月8日一部改正